

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和 6 年 3 月 26 日

公表:令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 10にんという

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるように改善しております。
	2 職員の配置数は適切である	○		個々の支援を充実させる為。	多く配置している
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	段差を減らすように、改造している。	入口に段差があり、利用者にとって適切になっていないため、板等での改良している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に業務改善を図っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートを元にニーズを把握し、常務改善をしている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者委員会を設ける方向性で進んでいる。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修会はあるがコロナの影響で実施できていない。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者様のニーズをしっかりと入れれるように作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントを把握するため、しっかり標準化している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			定期的に会議等で上げている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			時間等も長くなるので、課題を密に設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団や個々の活動を一人一人に設定している。	活動を増やし設定を増やすことを考えております。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			総合的に職員間ではなしをして、役割分担をしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			会議を多めに取り、支援の向上のために共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			ガイドラインや基本活動を入れ支援している。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との連携を定期的に図っている。	学校お迎え時に先生との交流を図り、教えてもらえる関係を作っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			出来るだけ、受け入れ態勢を確立したい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現状では情報共有はできていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			定期的に説明したり、児童と一緒に探している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修での向上を図りたい。	連携機関との、研修を図りたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			コロナもあり、交流の機会を少しずつ増やしたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			状況をしっかりと伝え、今後の課題を明確に説明している。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			出来るだけ支援を行いたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約や更新月に説明させていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			出来るだけ適切に話し、なんでも会話していただける関係の構築を心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナもあり、現実に開催できていないが、開催し、家族間の理解を増やしてほしい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			当施設での最大限の支援や苦情に対する対応を迅速にはなしをしていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			発信を心がけて情報共有を図りたい。
	35	個人情報に十分注意している	○			厳重に管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			しっかりお話しを面談時に時間を多くとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			コロナもあり、現実に開催できていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			定期的を確認をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的にしている。	出来るだけ時間を図り、実際の災害を想定し行動してもらう。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修の内容を向上させている。	職員の研修の機会を増やす。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		研修の内容を向上させている。	計画書の更新時にしっかり説明をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現状ではできていないが医師にコンタクトはとっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットを職員同士の共有ツールでやっている。